

2014年3月期 第3四半期決算説明会



Spacia



Spacia
Custom

スズキ株式会社

2014.2.6

- ・ 2期連続の増収増益、利益額・利益率 過去最高<第3四半期決算>

(億円)

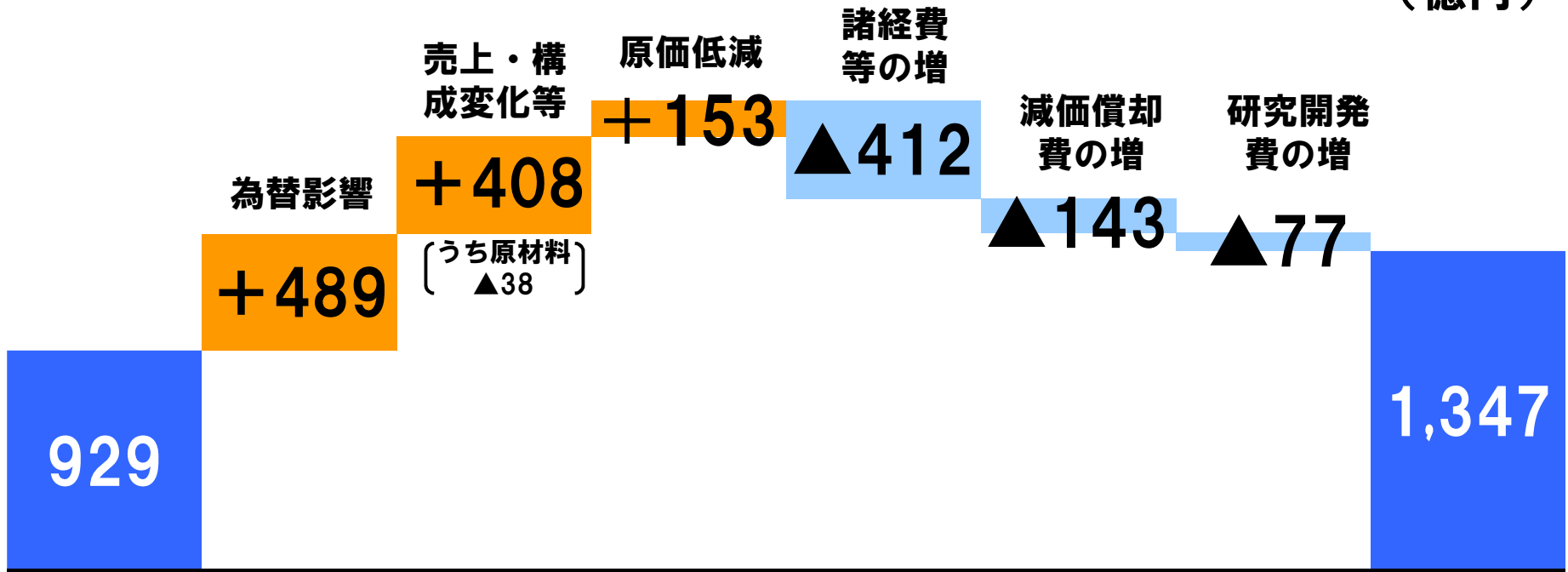
	当第3四半期 (’13/4-12)	前年同期 (’12/4-12)	増 減	
				増減率
売上高	20,757	18,228	+2,529	+13.9%
国内売上	7,779	7,497	+282	+3.8%
自 社	6,963	6,218	+745	+12.0%
OEM	816	1,279	▲463	▲36.2%
海外売上	12,978	10,731	+2,247	+20.9%
営業利益 (利益率)	1,347 (6.5%)	929 (5.1%)	+418	+45.1%
経常利益 (利益率)	1,395 (6.7%)	1,013 (5.6%)	+382	+37.6%
四半期純利益 (利益率)	825 (4.0%)	484 (2.7%)	+341	+70.3%

(億円)

	二輪			四輪			特機等			合計			内、為替 換算影響
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	
国内計	176	165	+11	7,484	7,219	+265	119	113	+6	7,779	7,497	+282	
自社	176	165	+11	6,668	5,940	+728	119	113	+6	6,963	6,218	+745	
OEM				816	1,279	▲463				816	1,279	▲463	
海外計	1,748	1,468	+280	10,978	9,046	+1,932	252	217	+35	12,978	10,731	+2,247	+1,800
欧州	286	210	+76	2,220	1,707	+513	77	62	+15	2,583	1,979	+604	+526
北米	282	239	+43	69	360	▲291	101	93	+8	452	692	▲240	+85
アジア	859	745	+114	7,616	6,044	+1,572	26	21	+5	8,501	6,810	+1,691	+1,024
その他	321	274	+47	1,073	935	+138	48	41	+7	1,442	1,250	+192	+165
総合計	1,924	1,633	+291	18,462	16,265	+2,197	371	330	+41	20,757	18,228	+2,529	+1,800
内、為替 換算影響			+253			+1,508			+39			+1,800	

※当期・・・2013年4～12月期、前期・・・2012年4～12月期

(億円)



前年同期
営業利益

当第3四半期
営業利益

増益要因 + 1,050

減益要因 ▲ 632

営業利益 + 418

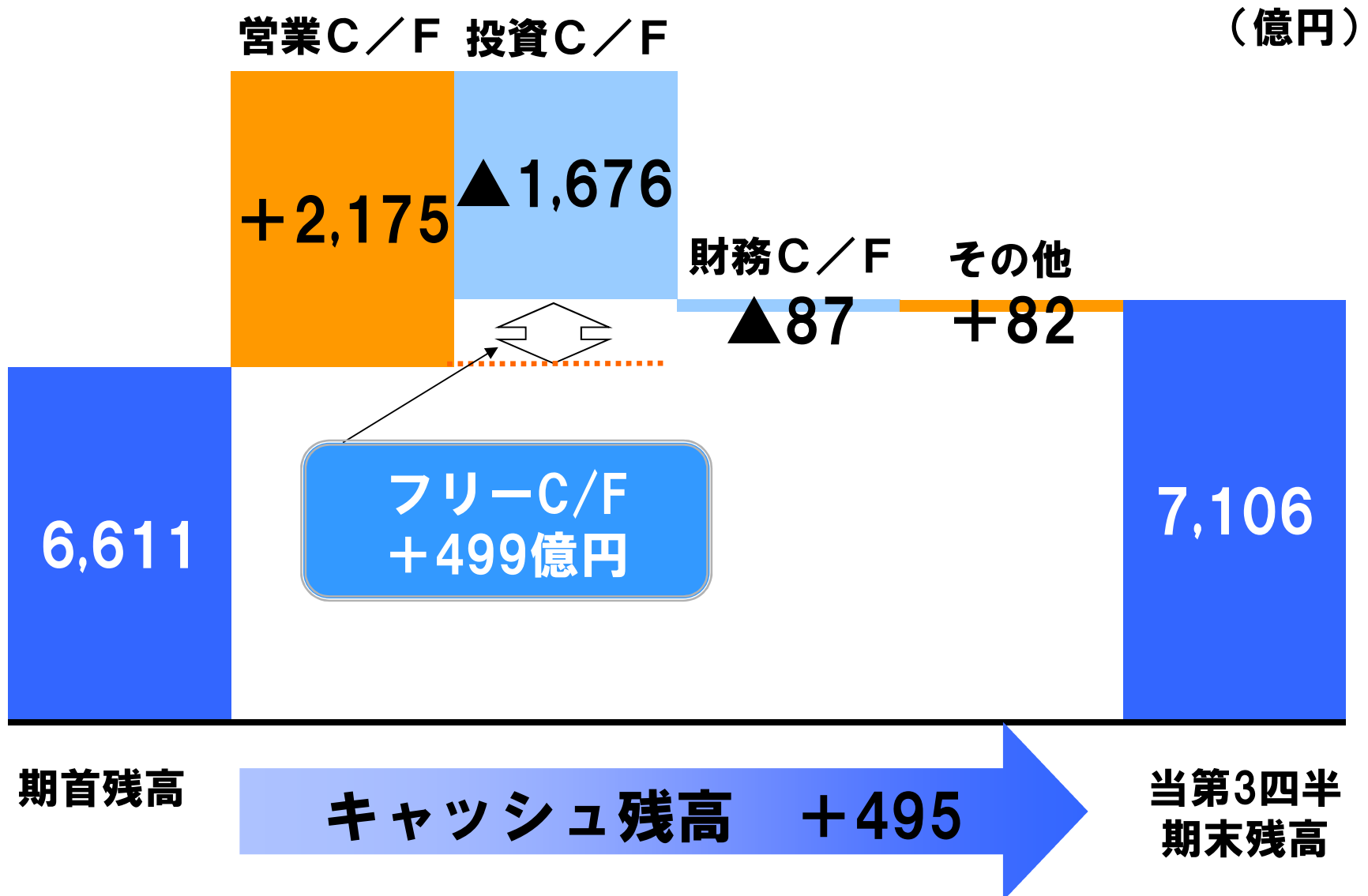
	当第3四半期 ('13/4-12)	前年同期 ('12/4-12)	増 減	営業利益 為替影響
米ドル	99円	80円	+19円	+54億円
ユーロ	132円	102円	+30円	+165億円
インドルピー	1.68円	1.48円	+0.20円	+104億円
インドネシアルピア (100ルピア当り)	0.94円	0.85円	+0.09円	+35億円
タイバーツ	3.19円	2.56円	+0.63円	+39億円
その他	—	—	—	+92億円
計				+489億円

連結：設備投資、減価償却費、 研究開発費、及び有利子負債残高

(億円)

	当第3四半期 ('13/4-12)	前年同期 ('12/4-12)	増 減
(当社単独)	357	355	+2
(子会社)	1,166	885	+281
設備投資	1,523	1,240	+283
減価償却費	848	705	+143
研究開発費	930	853	+77

	当第3四半期末	前年同期末		前期末	
	('13/12末)	('12/12末)	増 減	('13/3末)	増 減
有利子負債残高	4,562	4,399	+163	4,275	+287



連結：事業別業績 (売上高・営業利益)

(億円)

《二輪》

《四輪》

《特機等》

売上高

前年同期

当第3四半期

売上高
+291 (+17.8%)

売上高
+2,197 (+13.5%)
18,462

売上高
+41 (+12.5%)

営業利益

前年同期

当第3四半期

売上高
1,633 1,924
営業利益
+54 (赤字縮小)

16,265
営業利益
+351 (+35.4%)

330 371
営業利益
+13 (+33.4%)

▲100 ▲46
前年同期 当第3四半期
'12/4-12 '13/4-12

988 1,339
前年同期 当第3四半期
'12/4-12 '13/4-12

41 54
前年同期 当第3四半期
'12/4-12 '13/4-12

パリボートショーで新型船外機 「DF25A/DF30A」を発表

総排気量490ccのクラス最軽量※1
低燃費な4ストローク船外機

■ DF25Aの全面改良

- ・V型2気筒エンジンから直列3気筒エンジンへの変更
- ・バッテリーレスフューエルインジェクション(燃料噴射)システム採用
- ・リーンバーン(希薄燃焼)システム採用
- ・クラス最軽量※1の62kg※2を実現
- ・現行モデルと比べて燃費が最大で15%向上※3

■ DF30Aを新たに追加

- ・ボートユーザーのニーズに幅広く応え、拡販

■ 生産・販売

- ・タイスズキモーター社で生産
- ・2014年夏より全世界で順次販売を開始
- ・今後は30馬力までの船外機をタイで生産



DF30A

※1 18.4kW(25PS)/22.1kW(30PS)クラス。2013年12月1日現在

※2 リコイル始動のDF25AS/DF30ASの重量(プロペラ、エンジンオイルの重量は含まない)。

※3 スズキ社内テストによる。

連結：所在地別業績 (売上高・営業利益)

(億円)

売上高

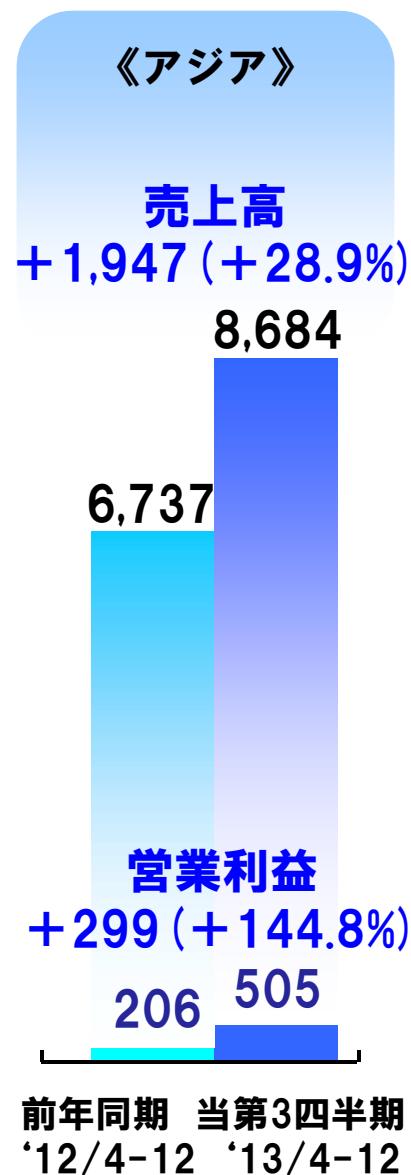
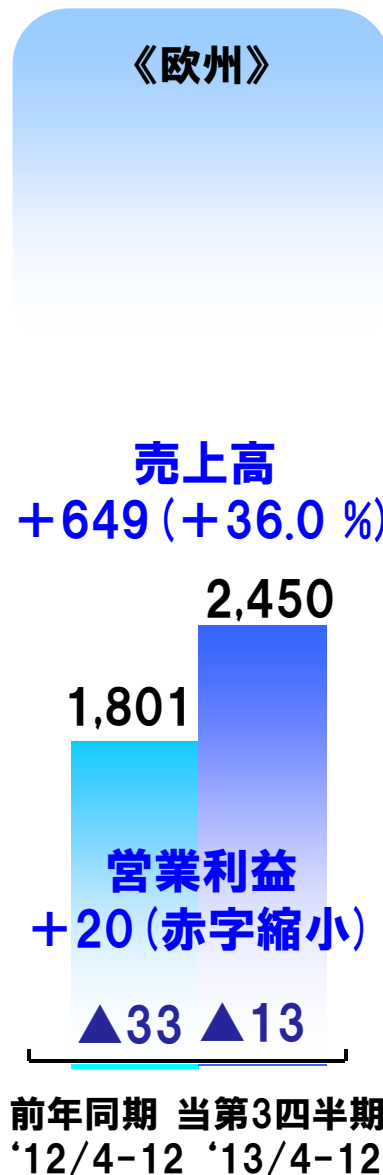
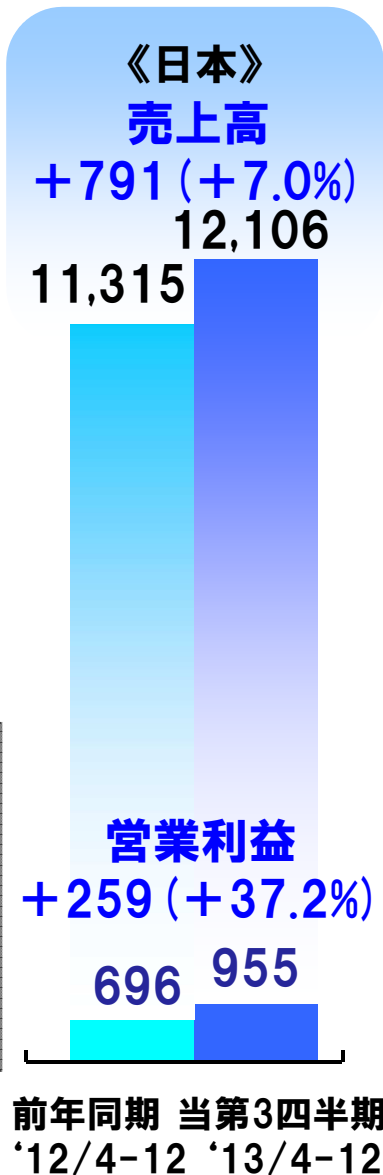
前年同期

当第3四半期

営業利益

前年同期

当第3四半期



	当第3四半期末 ('13/12末)	前年同期末		前期末	
		('12/12末)	増 減	('13/3末)	増 減
連 結 子会社数	135社	135社	±0社	135社	±0社
持分法適用 関連会社数	37社	36社	+1社	37社	±0社
従業員数	58,077人	55,754人	+2,323人	55,948人	+2,129人

(億円)

	今 回 通期予想	前期比較		前回予想比較	
		前期実績	増減	前回予想	増減
売上高	28,500	25,783	+2,717	28,000	+500
営業利益	1,800	1,446	+354	1,700	+100
経常利益	1,900	1,556	+344	1,800	+100
当期純利益	1,050	804	+246	1,000	+50
増減要因	為替影響	+500	▲69	+425	+75
	原価低減	+270	+284	+270	—
	売上・構成変化等	+234	+327	+209	+25
	諸経費等の増	▲380	▲288	▲380	—
	減価償却費の増	▲160	+94	▲160	—
	研究開発費の増	▲110	▲95	▲110	—
計	+354	+253		+254	+100
設備投資	2,400	1,693	+707	2,400	—
減価償却費	1,100	937	+163	1,100	—
研究開発費	1,300	1,193	+107	1,300	—

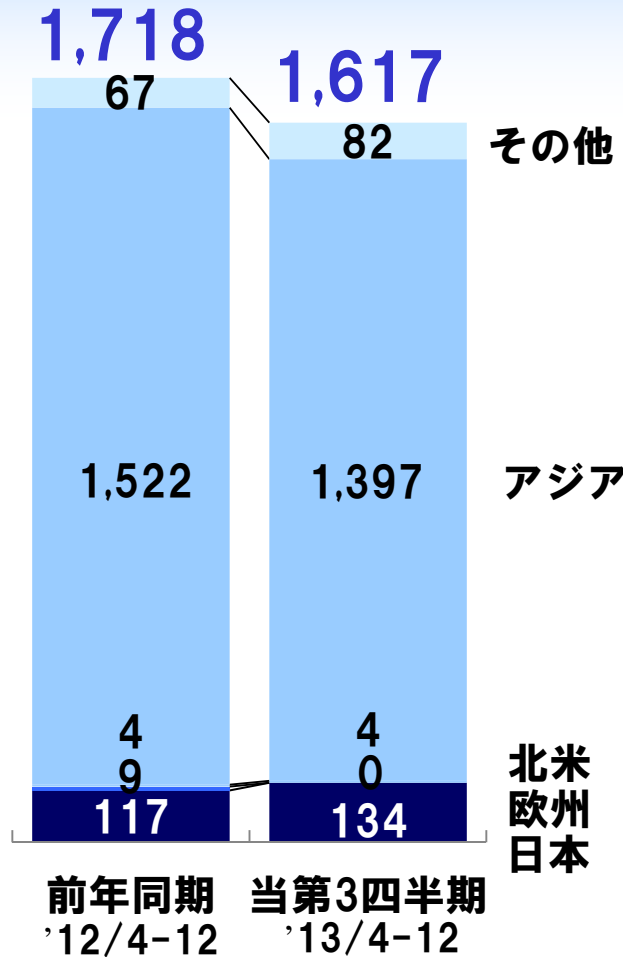
連結：通期業績予想 (為替レート前提)

	今回予想 (2013.4~2014.3)			為替影響	前期比較 (2012.4~2013.3)		前回予想比較 (2013.4~2014.3)	
	'13/4-12 実績	'14/1-3 予想	通期 予想		通期 実績	増減	通期 予想	増減
米ドル	99円	100円	100円	+68億円	83円	+17円	97円	+3円
ユーロ	132円	135円	133円	+189億円	107円	+26円	127円	+6円
インド ルピー	1.68円	1.60円	1.66円	+81億円	1.54円	+0.12円	1.65円	+0.01円
インドネシア ルピア※	0.94円	0.85円	0.92円	+19億円	0.88円	+0.04円	0.94円	▲0.02円
タイ バーツ	3.19円	3.00円	3.15円	+42億円	2.62円	+0.53円	3.10円	+0.05円
その他通貨				+101億円				
為替影響額 計				+500億円				

※インドネシアルピアは100ルピア当りのレート

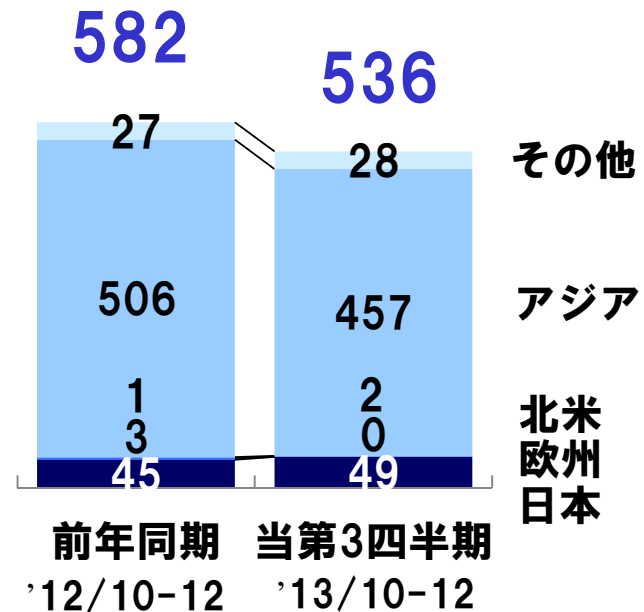
《4～12月比較》

▲101千台(▲5.9%)



《10～12月比較》

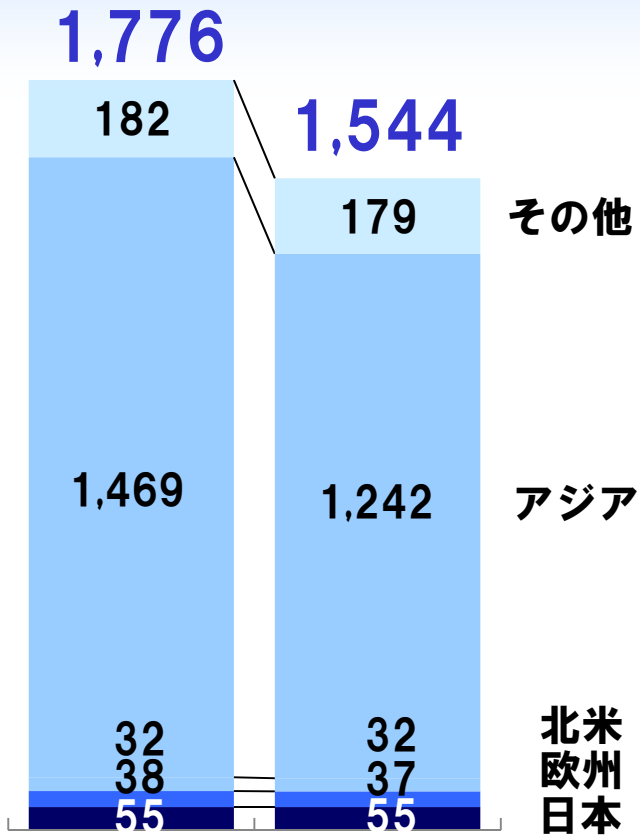
▲46千台(▲8.0%)



(千台)

《4～12月比較》

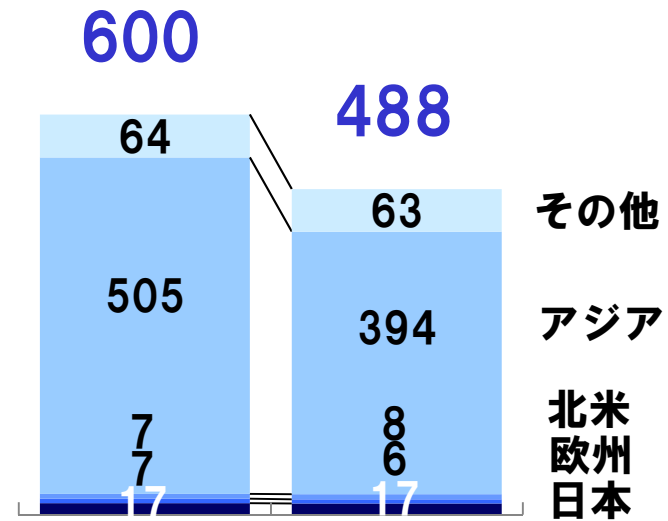
▲232千台(▲13.1%)



前年同期 '12/4-12 当第3四半期 '13/4-12

《10～12月比較》

▲112千台(▲18.6%)



前年同期 '12/10-12 当第3四半期 '13/10-12

(千台)

国内大型二輪車の商品拡充とともに、スズキ二輪車のブランドイメージの更なる向上を図る。

■「隼（ハヤブサ）」について

- ・「究極のスポーツバイク」を構想に開発
- ・高い空力特性を持つ独特のデザインと優れた走行性能が特長の大型ロード・スポーツ・バイク（1,339cc 水冷4サイクル直列4気筒エンジン）
- ・「鎧兜」をモチーフに高い空力特性とライダーへの防風効果を徹底的に追求した独特のデザイン
- ・1999年より欧州や北米などで販売を開始、近年はインドなど新興国へも投入
- ・スズキが誇る旗艦機種として世界中で好評

<日本仕様の「隼（ハヤブサ）」について>

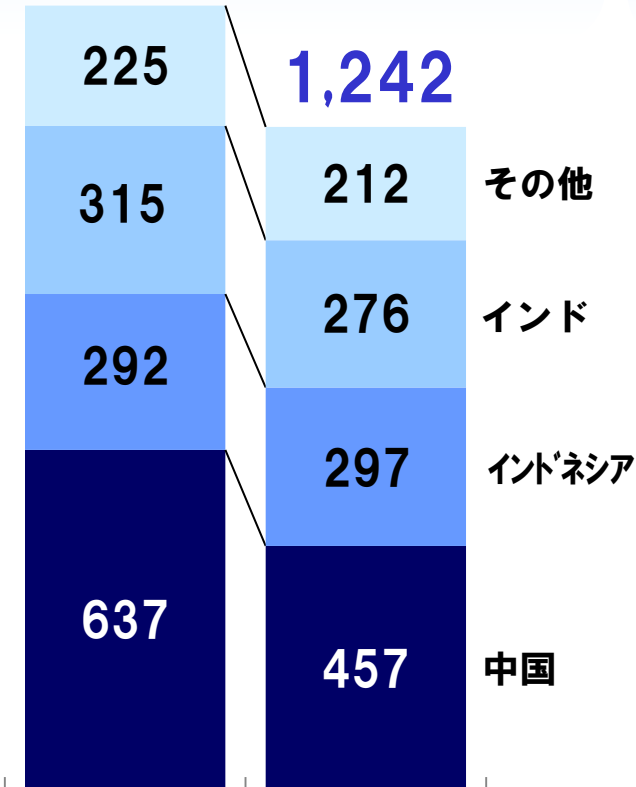
- ・日本仕様を2月10日より発売
- ・欧州仕様と同じ最高出力145kW（197PS）、最大トルク155N・m（15.8kgf・m）を発揮
- ・ETC車載器を国内二輪車として初めて標準装備（メーター内の表示で動作状況の確認が可能）
- ・年間目標販売台数 500台
- ・メーカー希望小売価格 1,564,500円（消費税5%込み）



《4～12月比較》

▲228千台(▲15.5%)

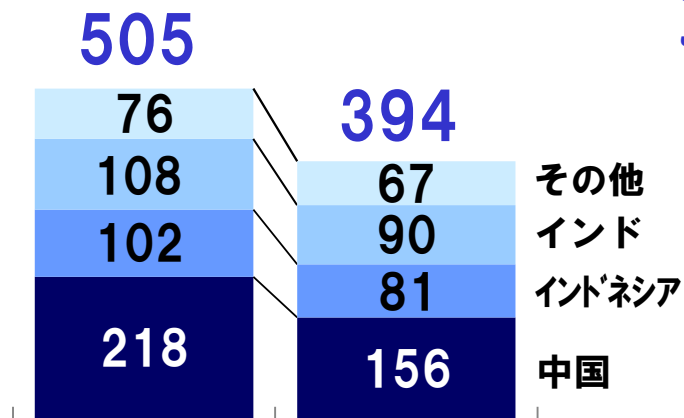
1,469



《10～12月比較》

▲111千台(▲21.9%)

(千台)

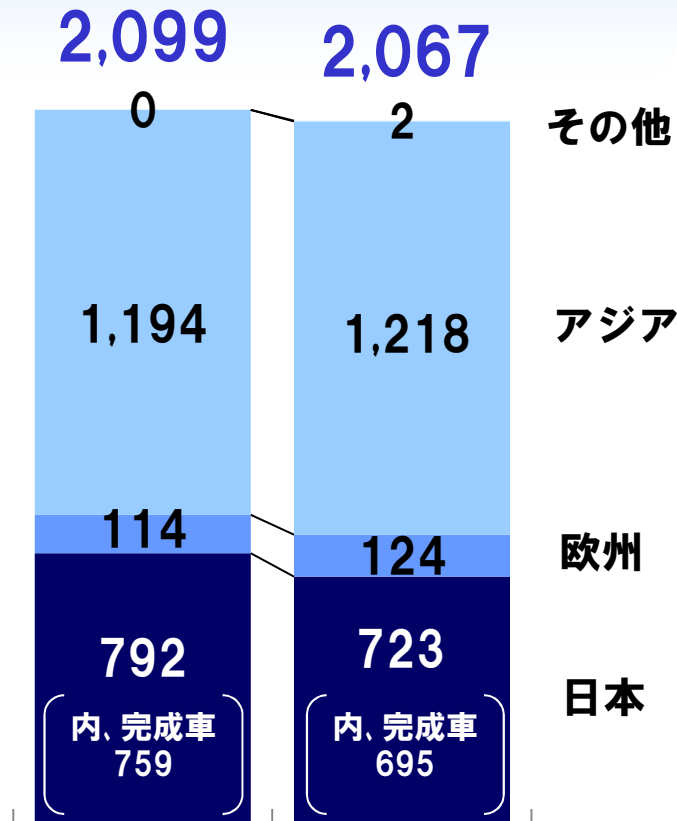


Satria F150
Special Edition (Indonesia)

前年同期 当第3四半期
'12/4-12 '13/4-12

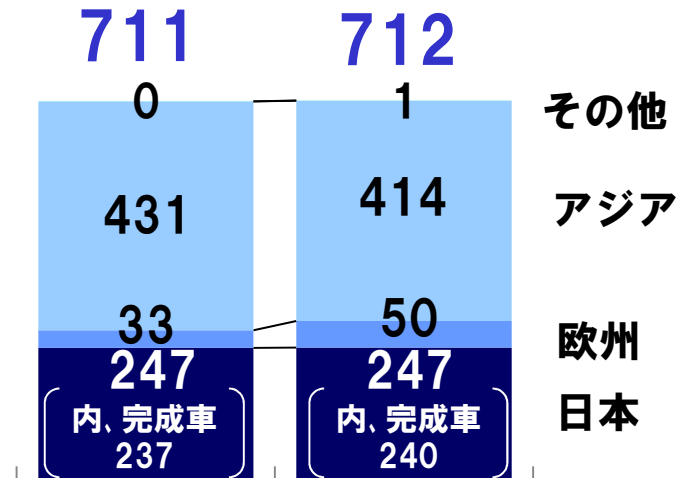
前年同期 当第3四半期
'12/10-12 '13/10-12

《4～12月比較》
▲32千台(▲1.5%)



前年同期 '12/4-12
当第3四半期 '13/4-12

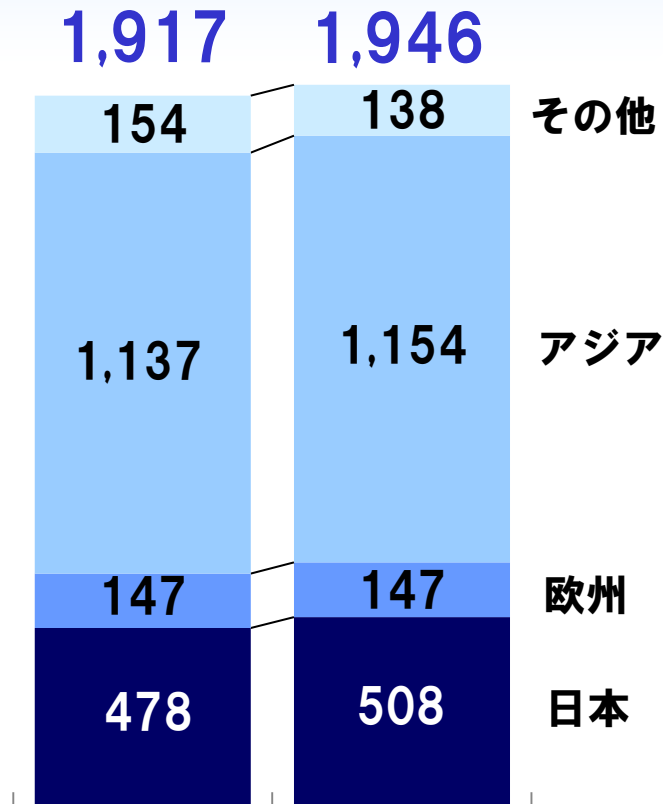
《10～12月比較》
+2千台(+0.2%)



前年同期 '12/10-12
当第3四半期 '13/10-12

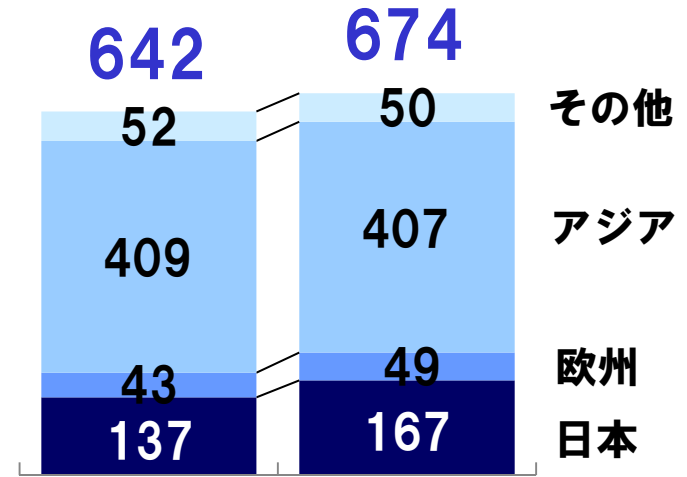
(千台)

《4～12月比較》
+30千台(+1.6%)



前年同期 '12/4-12
当第3四半期 '13/4-12

《10～12月比較》
+32千台(+5.0%)

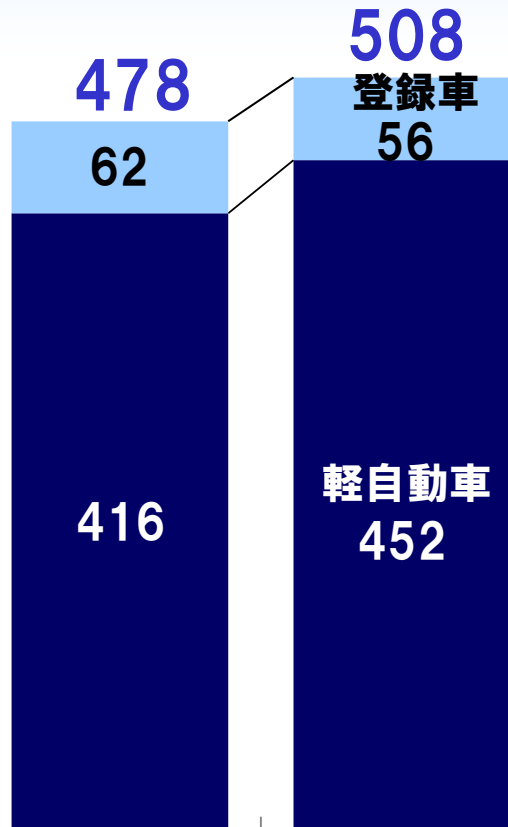


前年同期 '12/10-12
当第3四半期 '13/10-12

(千台)

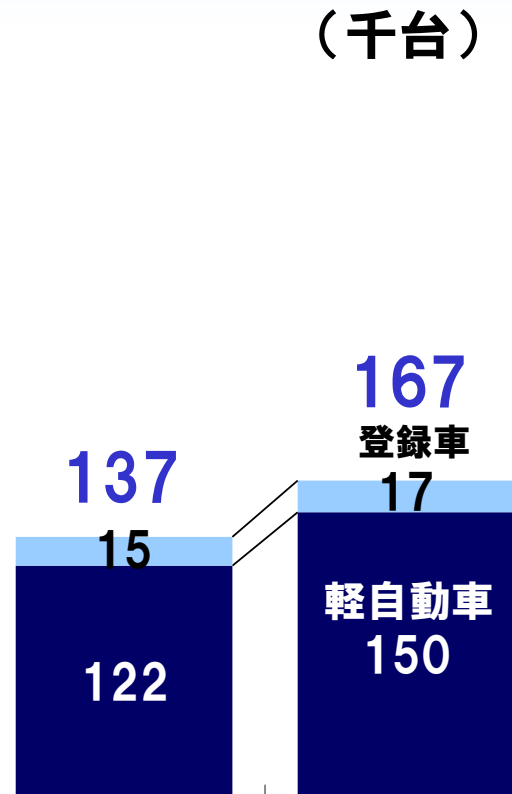
《4～12月比較》

+30千台(+6.2%)



《10～12月比較》

+30千台(+21.6%)



前年同期
'12/4-12

当第3四半期
'13/4-12

前年同期
'12/10-12

当第3四半期
'13/10-12



スぺーシア/スぺーシア カスタム

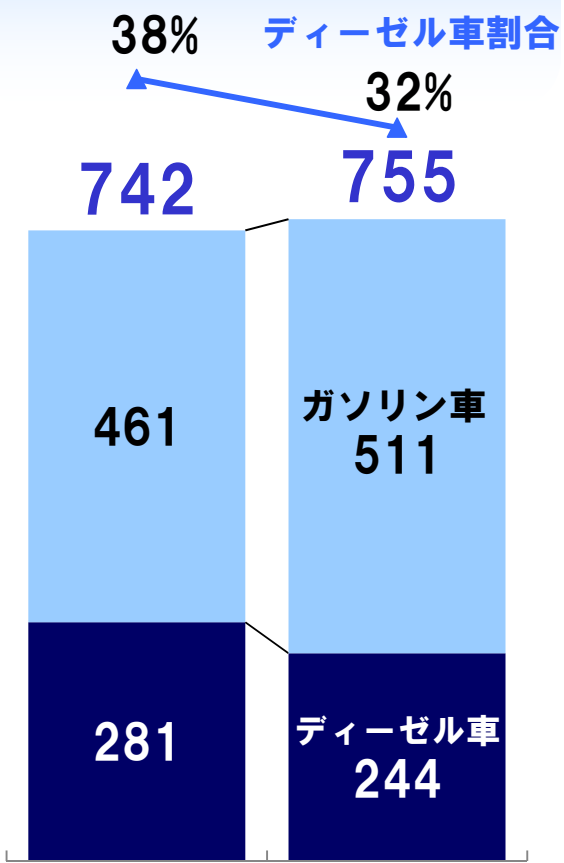
- ・2013-2014
日本カー・オブ・ザ・イヤー
スモールモビリティ部門賞受賞



アルト ラパン ショコラ

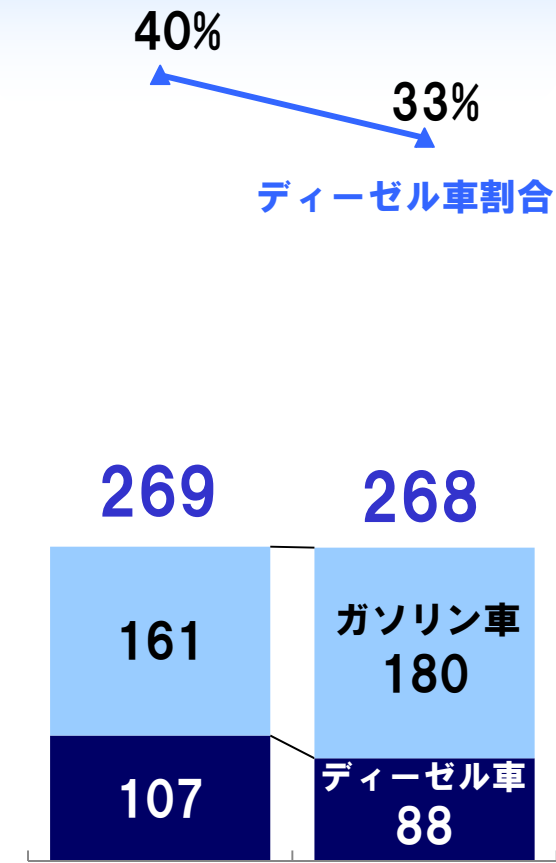
- ・「オートカラーアワード2014」で
「インテリア部門賞」「企画部門賞」
を受賞

《4～12月比較》
+13千台(+1.7%)



前年同期 '12/4-12
当第3四半期 '13/4-12

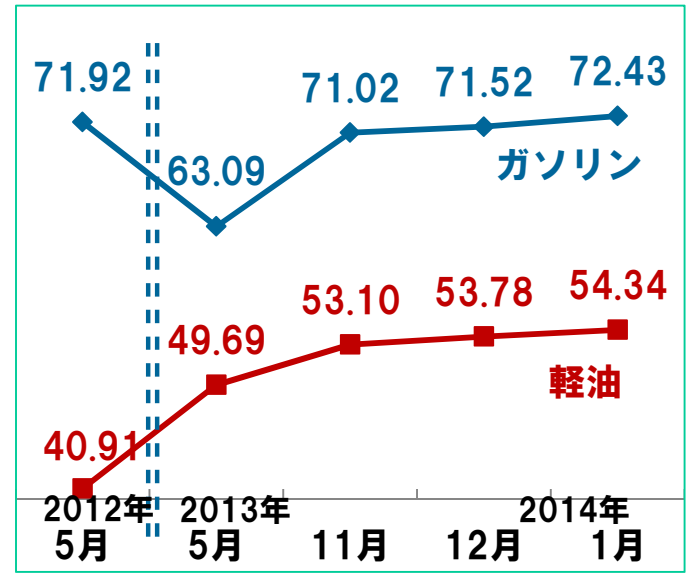
《10～12月比較》
▲1千台(▲0.3%)



前年同期 '12/10-12
当第3四半期 '13/10-12

(千台)

＜インド燃料価格推移＞ (ルピー/L)



- デリーオートエキスポで新型小型車「CELERIO(セレリオ)」発表
 - ・インドでも燃費の良い小型車の需要は年々高まってきている
 - ・低燃費の新型小型車「CELERIO」をインド市場に投入
 - ・新トランスミッション「Auto Gear Shift」を搭載
 - ・K10エンジンの改良、高張力鋼板・細部にわたる材料見直しによる軽量化などで低燃費を実現
- 新トランスミッション「Auto Gear Shift」を開発
 - ・クラッチ及びシフト操作を自動で行う
電動油圧方式アクチュエーターを搭載
 - ・「CELERIO」以外の機種にも搭載を検討

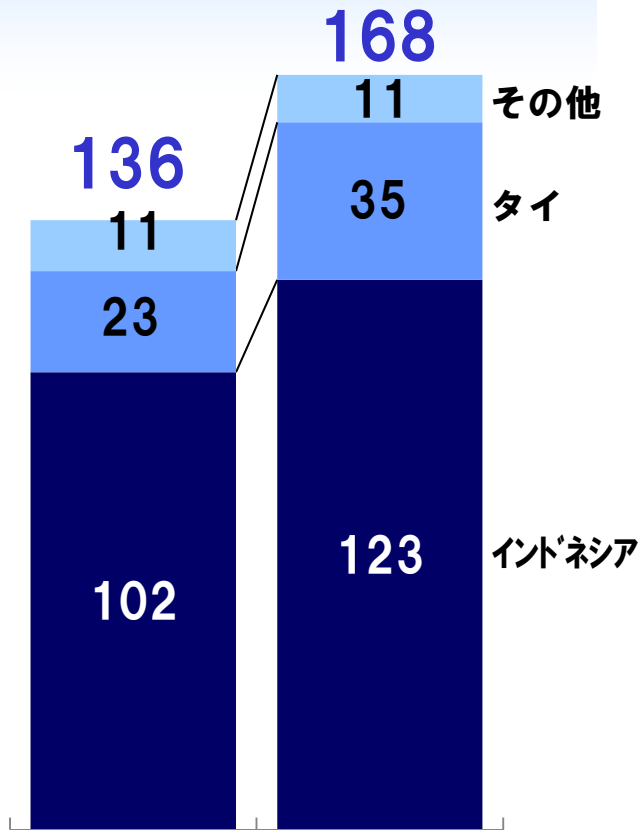


(特徴)

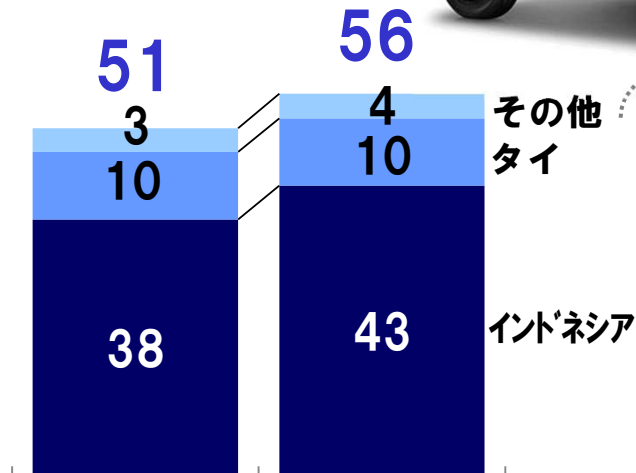
- ・優れた燃費性能
(マニュアルミッション+コンピューターによる最適制御)
- ・容易な運転の提供
(クラッチペダル・シフト操作不要、クリープ機能付)
- ・運転の楽しさの提供(マニュアルモード付)



《4～12月比較》
+32千台(+23.9%)



《10～12月比較》
+5千台(+9.9%)



(千台)



Karimun WagonR (Indonesia)

- ・インドネシア政府のLCGC (Low Cost Green Car) 政策に適合した低燃費1,000cc 5人乗り乗用車
- ・2013年9月よりインドネシアで生産開始し、11月に発売

前年同期 '12/4-12 当第3四半期 '13/4-12

前年同期 '12/10-12 当第3四半期 '13/10-12

(11月1日公表から変更)

(千台)

	通期生産台数				
	予想 (13年度)	前期実績 (12年度)		前回予想からの修正	
		増減	増減率		

	通期販売台数				
	予想 (13年度)	前期実績 (12年度)		前回予想からの修正	
		増減	増減率		

<二輪車>

日本	178	169	+9	+5.6%	▲8
欧州	—	13	▲13	—	—
北米	5	6	▲1	▲13.1%	±0
アジア	1,786	1,992	▲206	▲10.3%	▲120
その他	105	90	+15	+16.8%	▲12
合計	2,074	2,269	▲195	▲8.6%	▲140

日本	76	76	▲0	▲0.1%	+1
欧州	49	47	+2	+4.1%	▲1
北米	45	44	+1	+1.4%	±0
アジア	1,642	1,911	▲269	▲14.1%	▲111
その他	225	233	▲8	▲3.4%	▲13
合計	2,037	2,312	▲275	▲11.9%	▲124

<四輪車>

日本	997	1,044	▲47	▲4.5%	+6
欧州	173	151	+22	+14.7%	+2
アジア	1,681	1,683	▲2	▲0.1%	▲74
その他	2	0	+2	—	±0
合計	2,853	2,878	▲25	▲0.9%	▲66

日本	707	672	+35	+5.2%	+25
欧州	203	197	+6	+3.1%	▲8
アジア	1,604	1,588	+16	+1.0%	▲35
その他	178	204	▲26	▲12.8%	+2
合計	2,692	2,661	+31	+1.2%	▲16

今後のインド四輪車市場の伸張、及びインドからの輸出拡大に備え、四輪車の生産能力を確保

(設立の趣旨)

- ・インドのグジャラート州に四輪車工場を建設
- ・スズキが全額出資(設立時資本金10億ルピー、設備増強に伴い増資予定)
- ・設備投資額 約500億円、生産開始は2017年中を予定
- ・生産能力は当初、年間10万台より生産、その後段階的に増加の予定
- ・輸出も含めた車両の販売はマルチスズキ社が実施

(新会社の概要)

社名	Suzuki Motor Gujarat Private Limited (仮称)
所在地	グジャラート州アーメダバード市
代表者	相澤直樹 (スズキ株式会社 取締役専務役員)
事業内容	四輪車及びその補給部品の生産
資本金	設立時10億ルピー(設備増強に伴い段階的に増資の予定)
設立年月日	2014年4月を予定
当社との関係	スズキの100%子会社
決算期	3月

2014年3月期 第3四半期決算説明会

HUSTLER

遊べる軽、出た!

新型ハスラ-DEBUT



スズキ株式会社

将来予想に関する注意事項

※このプレゼンテーション資料に記載した将来予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき当社が判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

※実際には、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。

※実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動(主に米ドル／円相場、ユーロ／円相場、インドルピー／円相場)などが含まれます。